

## 2022 年度卒業・修了時満足度調査に関する分析

2023 年 6 月  
教育推進室



## 【目次】

### I 学部(学士課程)全体

I-1	回答者の特性	.....	1
I-2	卒業後の進路	.....	2
I-3	科目群ごとの満足度	.....	3
I-4	能力、姿勢、態度	.....	4
I-5	本学の推奨度	.....	5
I-6	大学全体のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点	.....	6
I-7	埼玉大学の英語教育	.....	7
I-8	教育に関する総合満足度	.....	8

### II 大学院全体(大学院修士・博士前期課程、専門職学位課程)

II-1	回答者の特性	.....	9
II-2	修了後の進路	.....	10
II-3	能力、姿勢、態度	.....	11
II-4	本学の推奨度	.....	12
II-5	大学全体のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点	.....	12
II-6	教育に関する総合満足度	.....	13

### III 大学院全体(大学院博士後期課程)

III-1	回答者の特性	.....	14
III-2	修了後の進路	.....	15
III-3	能力、姿勢、態度	.....	16
III-4	本学の推奨度	.....	17
III-5	大学全体のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点	.....	17
III-6	教育に関する総合満足度	.....	18

## 調査実施方法(学部)

○アンケート実施時期 : 2023年3月13日～2023年3月31日

○2023年3月卒業者数 : 1,582人

○有効回収数 : 511票

○回収率 : 32.4%(回収率は、有効回収数/3月卒業者数で計算した)

※本アンケートは、株式会社ネットマン製のC-Learningにより回答を依頼した。

※グラフの個々の数字は、小数点第二位以下を四捨五入しているため、数字を合計して100%にならない場合がある。

## I 学部(学士課程)全体

### I-1 回答者の特性

- ・ 図1では、回答者の学部別割合では、教養学部、教育学部、理学部の回答者の割合が、卒業生の学部別割合より高くなっているため、全体の傾向としてみるには留意が必要である。
- ・ 図2では、学部別回収率は、教育学部が37.9%と最も高い割合となっている。次いで教養学部および理学部が33.2%、工学部が30.2%、経済学部が27.5%となっている。

図1 卒業者・回答者の学部別割合

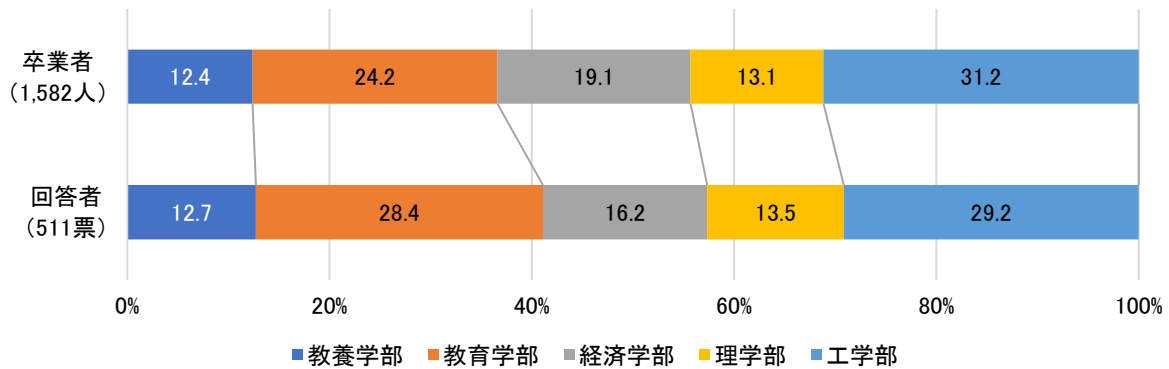
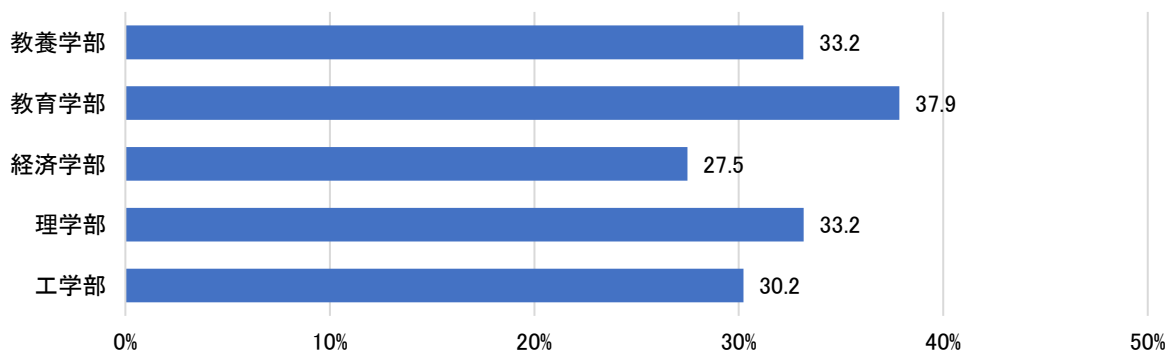


図2 学部別回収率



## I-2 卒業後の進路

- ・ 図3では、「進学」は 33.3% (うち本学研究科 29.4%)、「就職する」は 62%となっている。また、進学者全体における「本学研究科に進学する」学生の割合は 88.2%を占めている。
- ・ 図4では、「小・中・高等学校・特別支援学校教員、幼稚園教諭、保育士」は 23.7%、「情報通信業」は 16.9%、「地方公務員」は 14.9%、「製造業」は 7.1%、「金融業・保険業」は 4.9%となっている。

図3 進学される方は、進学先をお答えください。就職される方は「就職する」をお選びください。【進路別の割合】

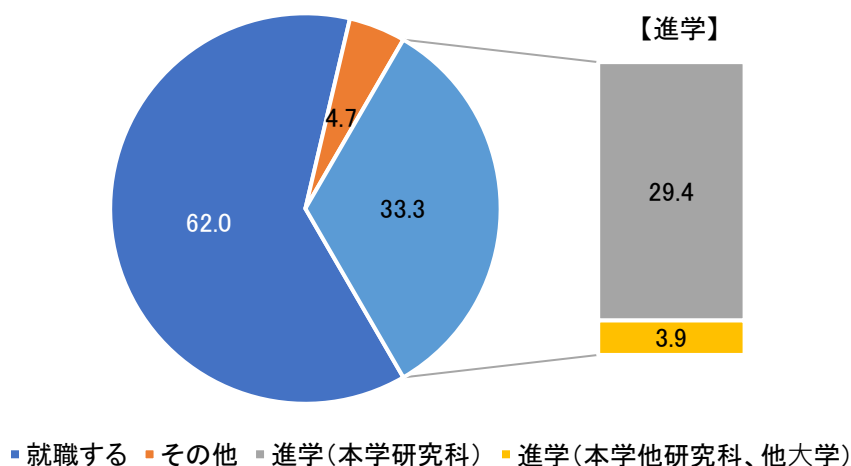
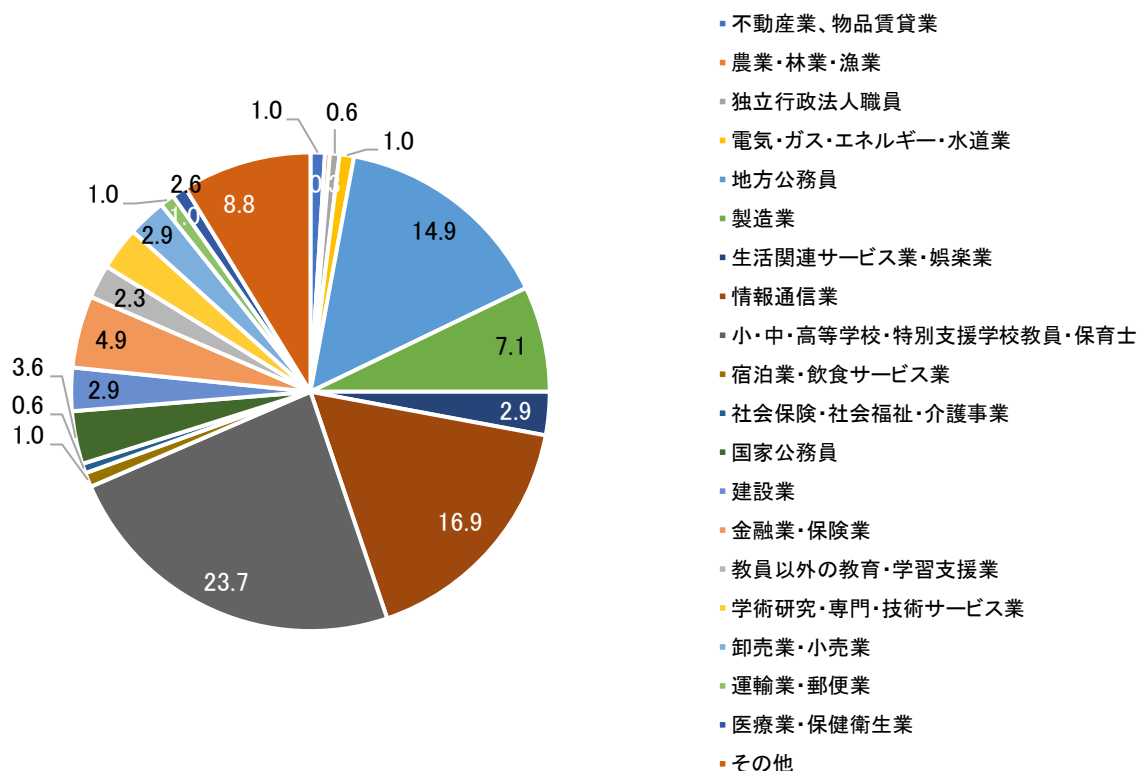


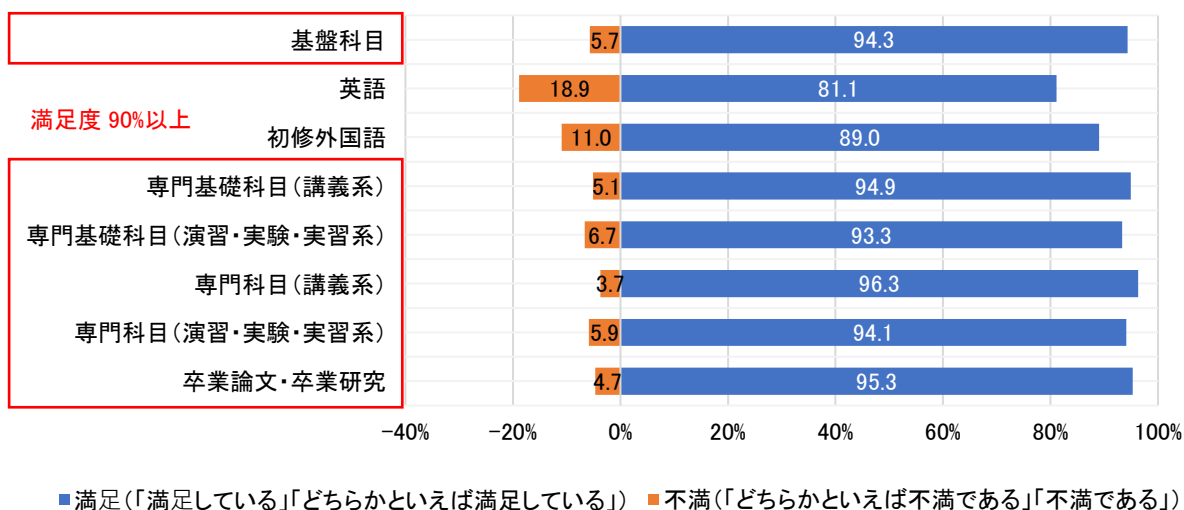
図4 就職される方は、就職先を以下のリストの中からお選びください。【業種別の割合】



### I-3 科目群ごとの満足度

- ・ 図5では、「基盤科目」「専門基礎科目(講義系)」、「専門基礎科目(演習・実験・実習系)」、「専門科目(講義系)」、「専門科目(演習・実験・実習系)」、「卒業論文・卒業研究」の満足度は90%以上と高い。一方、「英語科目」の満足度は81%と最も低くなっているが、2021年度卒業時アンケート集計結果における76%と比較すると、上昇傾向が認められる。
- ・ 表1では、「専門科目(講義系)」は相関のある項目が最も多い(5項目/7項目)。

図5 科目群ごとの満足度をお聞かせください。【満足度】



※科目群ごとの満足度について、「満足」の回答の割合は横軸の正の値、「不満」の回答の割合は横軸の負の値で示している。

表1 科目群ごとの満足度の相関

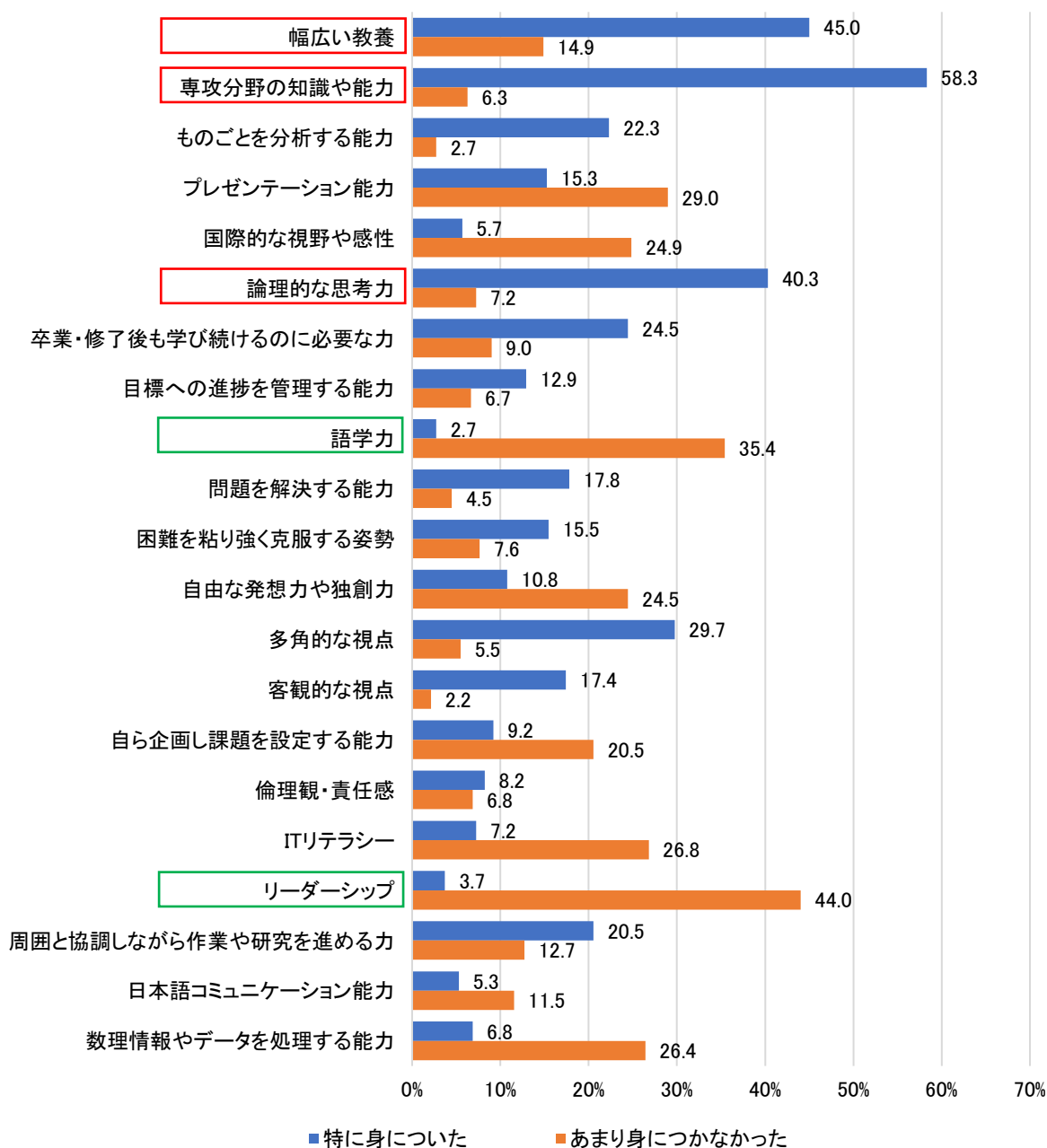
	基盤科目	英語	初修外国語	専門基礎科目		専門科目		卒業論文・卒業研究
				講義系	演習・実験・実習	講義系	演習・実験・実習	
基盤科目								
英語	0.49							
初修外国語	0.53	0.63						
専門基礎科目	講義系	0.50	0.41	0.46				
	演習・実験・実習	0.47	0.33	0.36	0.64			
専門科目	講義系	0.50	0.41	0.47	0.70	0.64		
	演習・実験・実習	0.46	0.29	0.36	0.52	0.74	0.72	
卒業論文・卒業研究	0.38	0.35	0.28	0.45	0.51	0.60	0.55	

■ 0.9以上 非常に強い相関 ■ 0.7~0.9未満 強い相関 ■ 0.5~0.7未満 相関がある ■ 0.3~0.5未満 非常に弱い相関 □ 0.3未満 ほぼ無関係

## I-4 能力、姿勢、態度

・ 4割以上の学生が「幅広い教養」「専攻分野の知識や能力」「論理的な思考力」が特に身についたと回答している。一方、3割以上の学生が「リーダーシップ」「語学力」があまり身につかなかったと回答している。

図6 大学を通じて特に身についたと思われる力・姿勢、あまり身につかなかったと思われる力・姿勢を5つまでお選びください。【回答の割合】



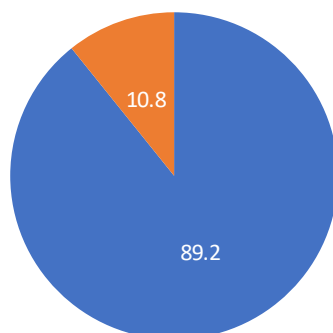
※回答の割合は、選択した回答数／全体の回答数で計算した。

## I-5 本学の推奨度

- ・ 図7では、本学の推奨度は 89.2%となっている。
- ・ 図8では、「推奨しない」を選択した学生は、「推奨する」を選択した学生より科目群の満足度は全体的に低い。特に「英語科目」「専門基礎科目（講義系）」の満足度では、「推奨しない」を選択した学生と「推奨する」を選択した学生の満足度の差が大きくなっている。また、「推奨しない」を選択した学生は、「英語科目」の満足度が 45.3%と低くなっている。

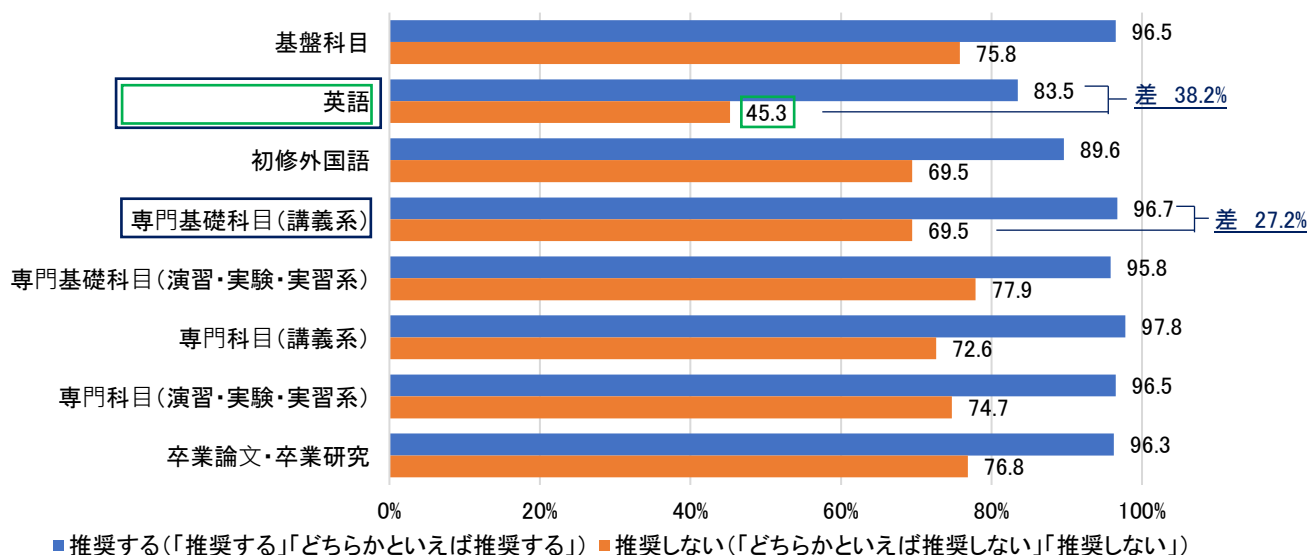
図7 もしあなたの友人や家族、親戚等が埼玉大学の受験を検討していたら、どの程度推奨しますか。

### 【推奨度】



■ 推奨する（「推奨する」「どちらかといえば推奨する」） ■ 推奨しない（「どちらかといえば推奨しない」「推奨しない」）

図8 推奨区分別の科目群ごとの満足度



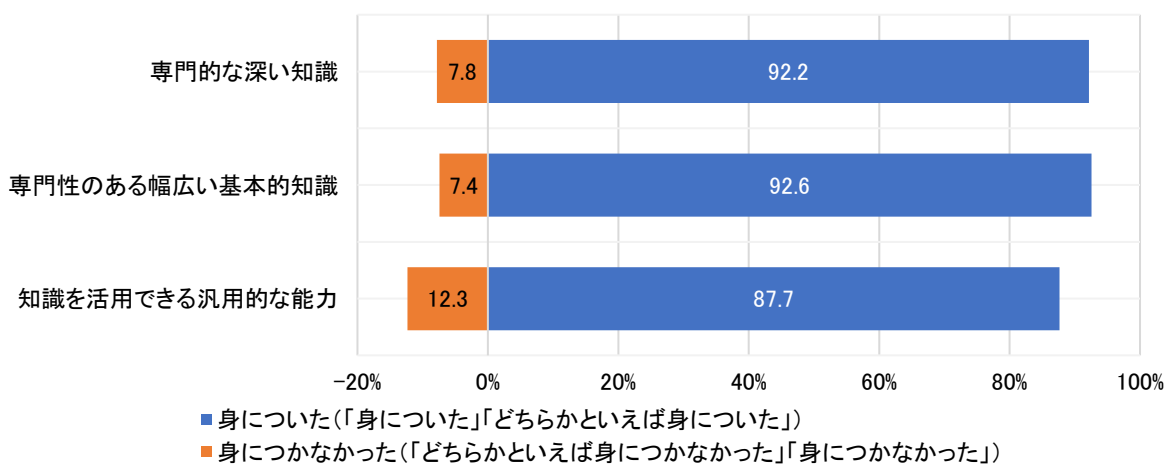
※ 科目群ごとの満足度は、「満足している」「どちらかといえば満足している」の合計を計算した。



## I-6 大学全体のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点

- ・ 図9では、3つ全ての項目で「身についた」の割合が85%以上となっている。
- ・ 表2では、3つ全ての項目で相関がある。

図9 自分がどの程度身につけられたと思うかをお答えください。【回答の割合】



※回答の割合について、「身についた」の回答の割合は横軸の正の値、「身につかなかった」の回答の割合は横軸の負の値で示している。

表2 大学全体の DP に関連する項目の相関

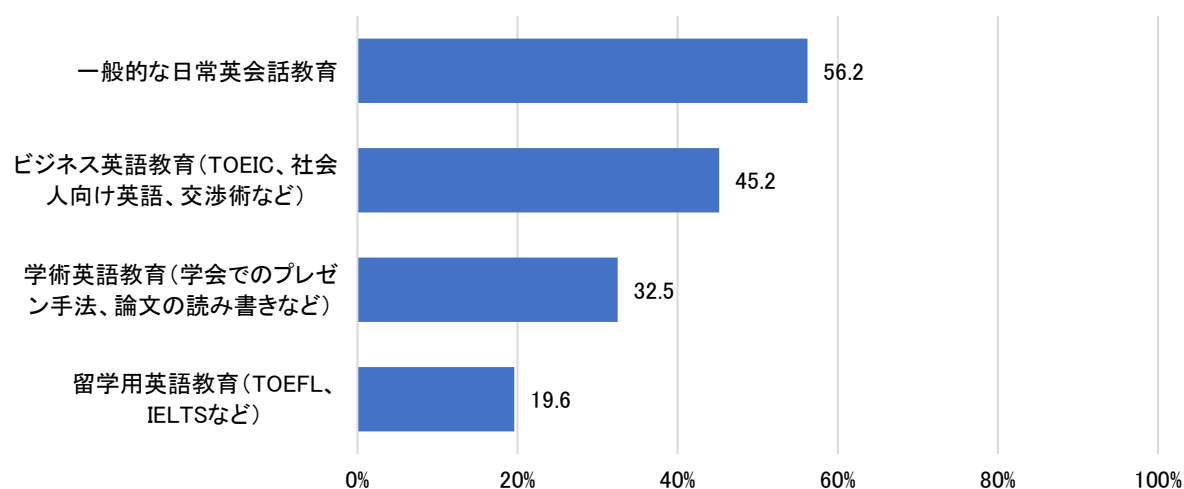
	専門的な深い知識	専門性のある幅広い基本的知識	知識を活用できる汎用的な能力
専門的な深い知識			
専門性のある幅広い基本的知識	0.61		
知識を活用できる汎用的な能力	0.56	0.64	

0.9以上 非常に強い相関 0.7~0.9未満 強い相関 0.5~0.7未満 相関がある 0.3~0.5未満 非常に弱い相関 0.3未満 ほぼ無関係

## I-7 埼玉大学の英語教育

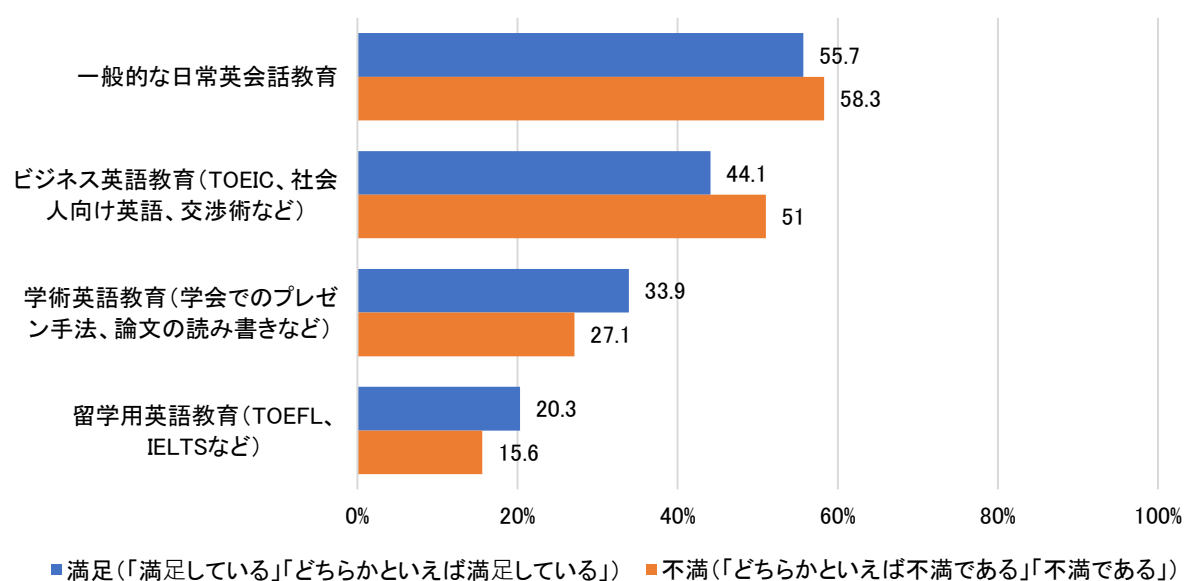
- ・ 図 10 では、もっと学んでおきたかった分野・内容として、約6割の学生が「一般的な日常英会話教育」と回答している。
- ・ 図 11 では、「満足」を選択した学生と「不満」を選択した学生ともに、「一般的な日常英語会話教育」と回答した割合が約6割となっている。

図 10 埼玉大学の英語教育を振り返って、もっと学んでおきたかった分野・内容を2つまでお選びください。【回答の割合】



※回答の割合は、選択した回答数／全体の回答数で計算した。

図 11 科目群 (英語科目) 満足度別の埼玉大学の英語教育に関する回答の割合

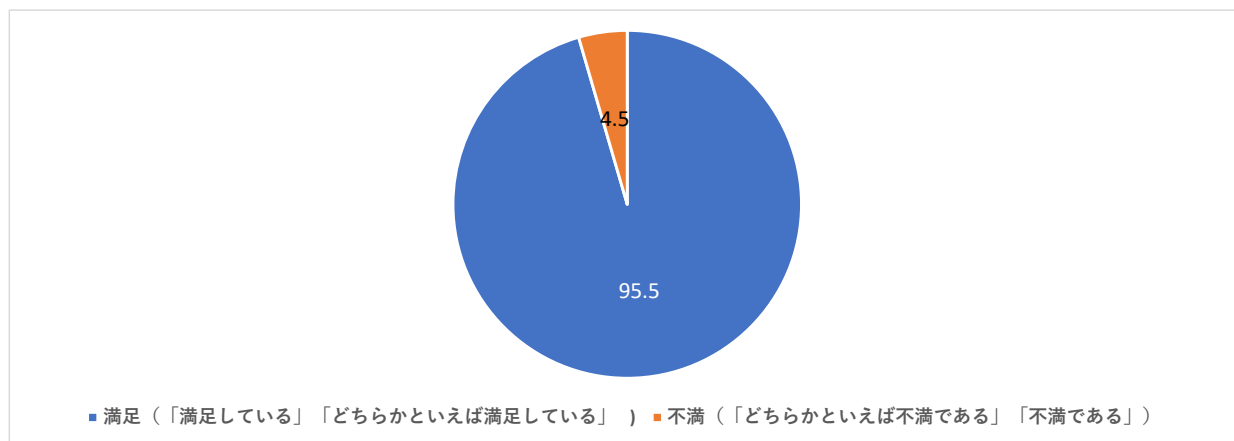


※回答の割合は、選択した回答数／満足度別の回答数で計算した。

## I-8 教育に関する総合満足度

・ 図 12 では、教育に関する総合満足度は 95.5%となっている。

図 12 埼玉大学の教育に対して、総合的な満足度をお聞かせください。【満足度】



## 調査実施方法(大学院博士前期課程、専門職学位課程)

○アンケート実施時期 : 2023年3月13日～2023年3月31日

○2023年3月修了者数 : 511人

○有効回収数 : 165票

○回収率 : 32.3%(回収率は、有効回収数/3月修了者数で計算した)

※本アンケートは、株式会社ネットマン製のC-Learningにより回答を依頼した。

※グラフの個々の数字は、小数点第二位以下を四捨五入しているため、数字を合計して100%にならない場合がある。

## Ⅱ 大学院全体(博士前期課程、専門職学位課程)

### Ⅱ-1 回答者の特性

- ・ 図13では、回答者の研究科別割合は、人文社会科学研究科・教育学研究科の回答者の割合が、修了者の課程別割合より高くなっているため、全体の傾向としてみるには留意が必要である。
- ・ 図14では、課程別回収率は、教育学研究科が51%と最も高く、理工学研究科が28.2%と最も低くなっている。

図13 修了者・回答者の課程別割合

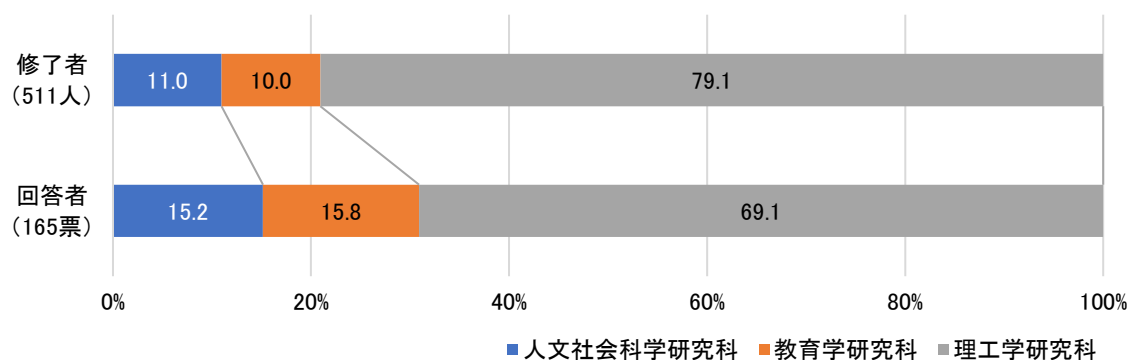
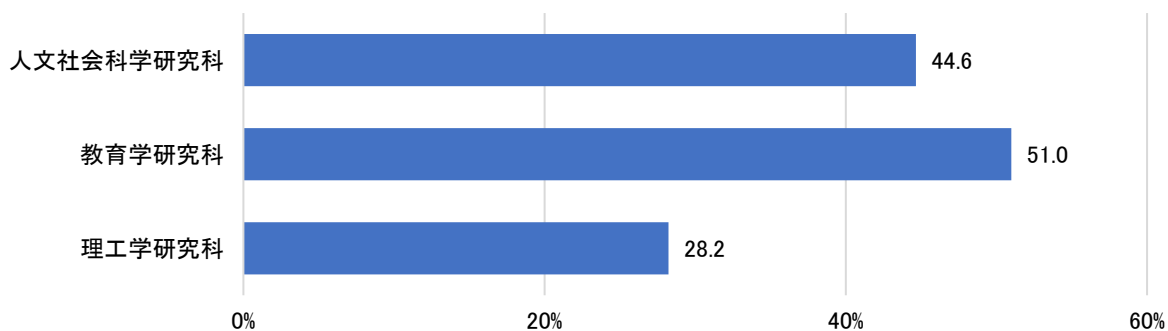


図14 課程別回収率



## Ⅱ-2 修了後の進路

- ・ 図 15 では、「進学」は、人文社会科学研究科が 12%、教育学研究科が 0%、理工学研究科が 5.3%となっている。「就職する」は人文社会科学研究科が 68%、教育学研究科が 65.4%、理工学研究科が 92.1%となっている。
- ・ 図 16 では、人文社会科学研究科は「情報通信業」「小中高等の教員」が 25%、教育学研究科は「小中高等の教員」が 89.5%、理工学研究科は「学術研究・専門・技術サービス」が 44%と割合が最も高くなっている。

図 15 進学される方は、進学先をお答えください。就職される方は「就職する」をお選びください。【進路別の割合】

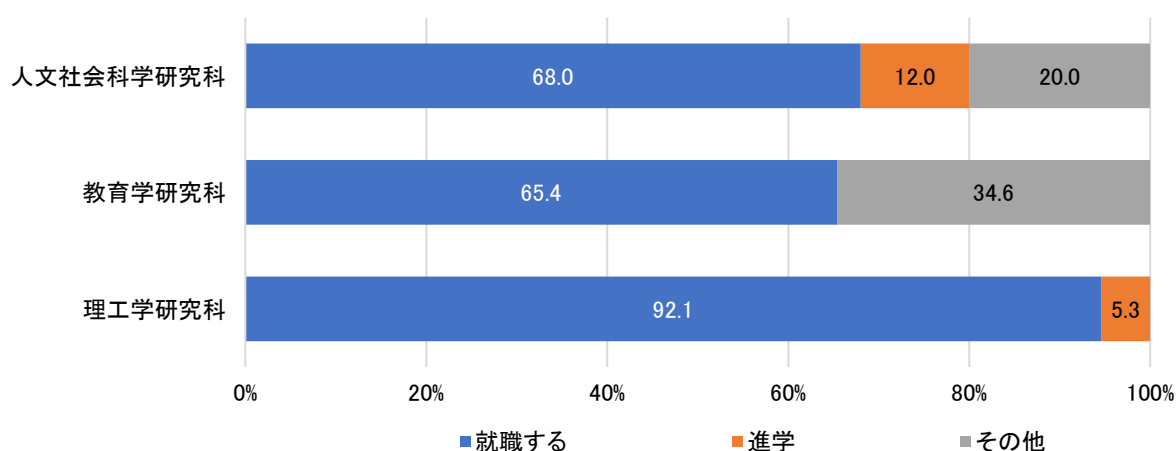
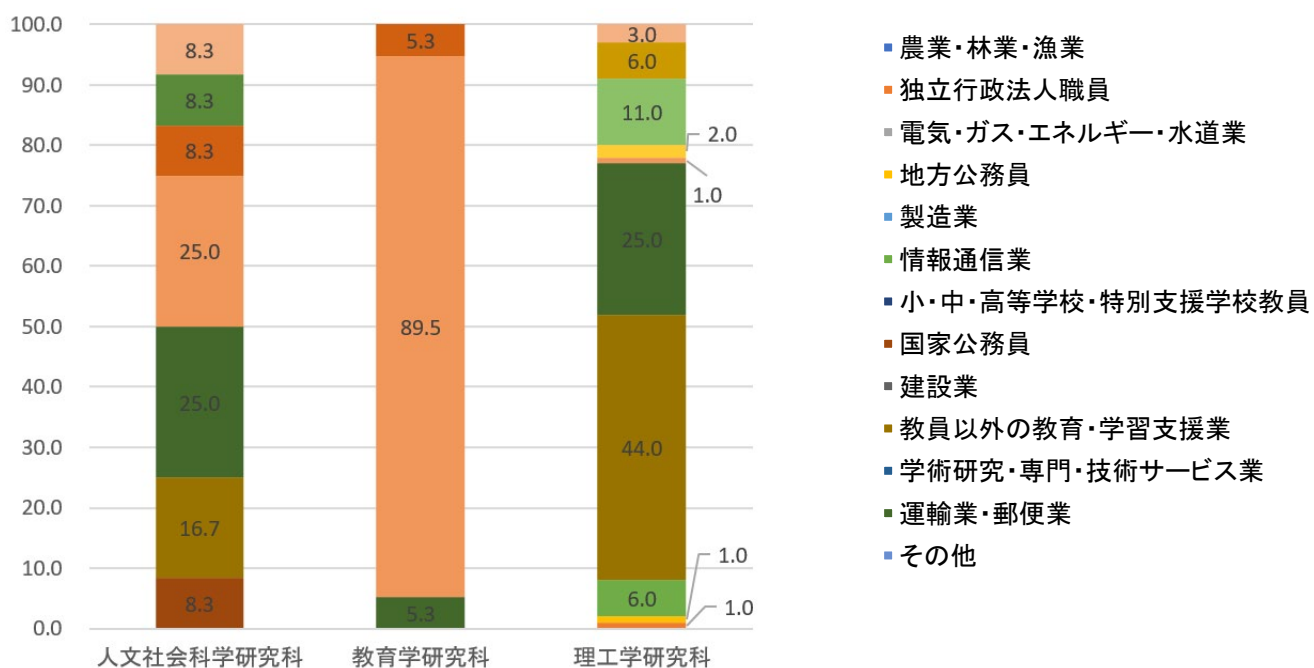


図 16 就職される方は、就職先を以下のリストの中からお選びください。【業種別の割合】

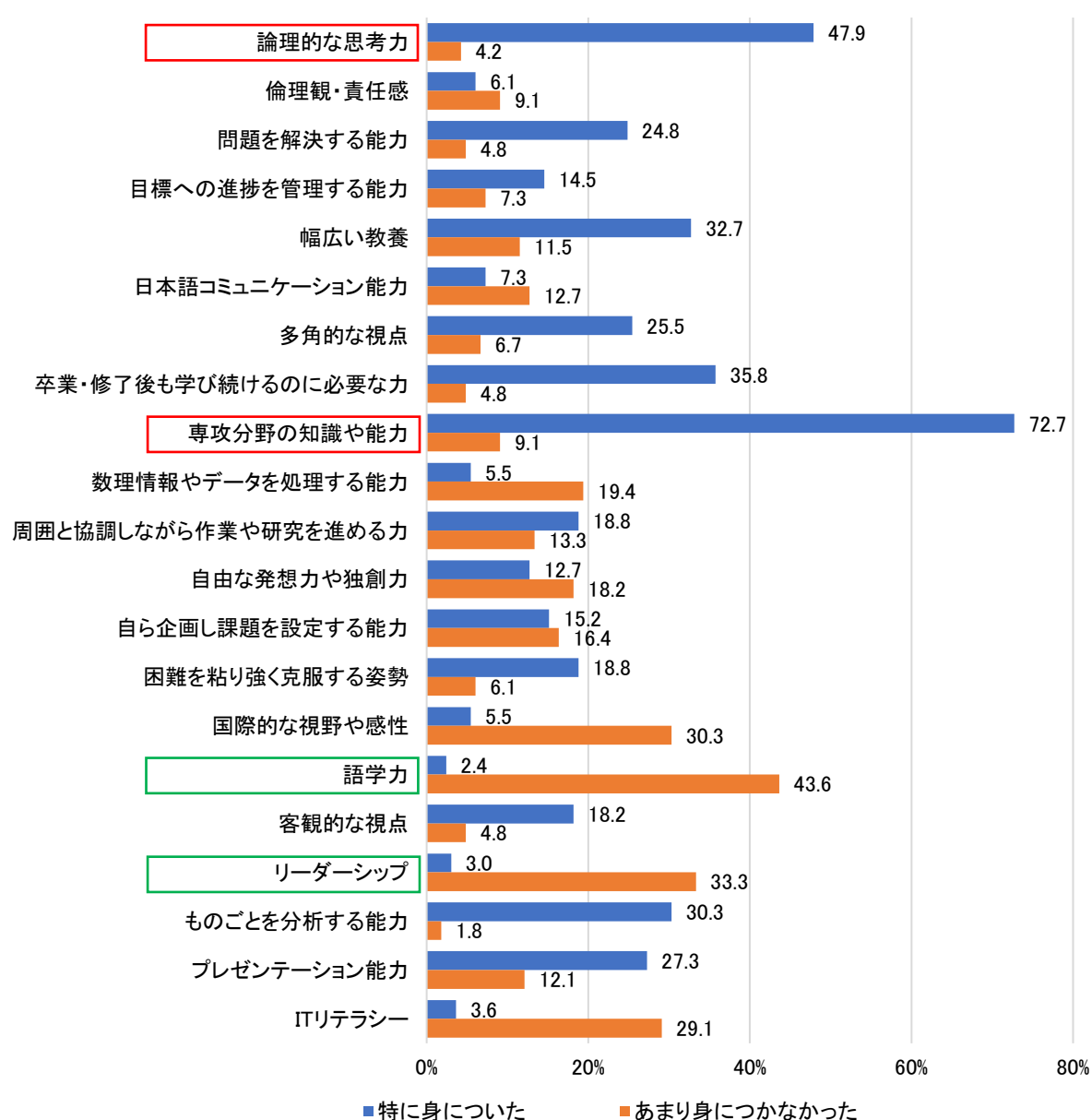


## Ⅱ-3 能力、姿勢、態度

### <博士前期課程>

- ・「論理的な思考力」「専攻分野の知識や能力」は、半数以上の学生が特に身についたと回答している。一方、約4割の学生が「語学力」「リーダーシップ」があまり身につかなかったと回答している。
- ・「語学力」「リーダーシップ」「IT リテラシー」は、特に身についたと回答している学生が5%以下となっている。

図 17 大学を通じて特に身についたと思われる力・姿勢、あまり身につかなかったと思われる力・姿勢を5つまでお選びください。【回答の割合】



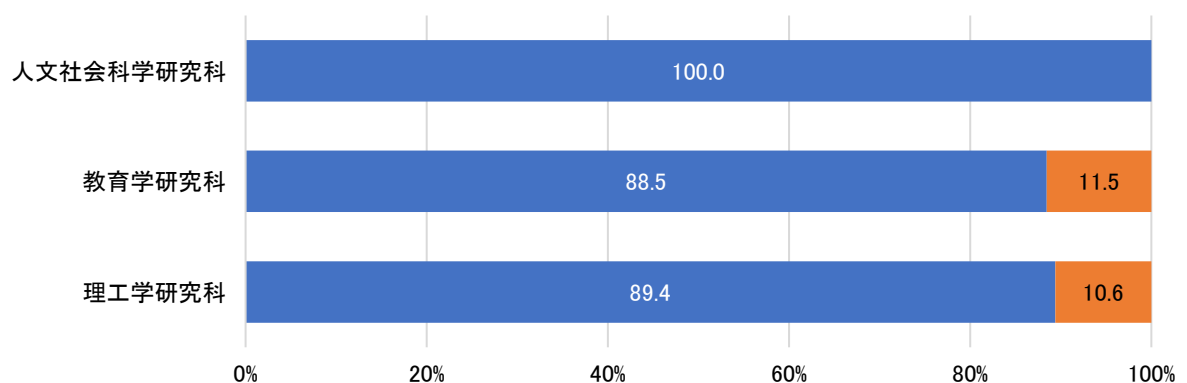
※ 回答の割合は、選択した回答数／全体の回答数で計算した。

## Ⅱ-4 本学の推奨度

・ 図 18 では、本学の推奨度は、全ての課程で「推奨する」と回答した学生は8割以上となっている。

図 18 もしあなたの友人や家族、親戚等が埼玉大学の受験を検討していたら、どの程度推奨しますか。

### 【推奨度】



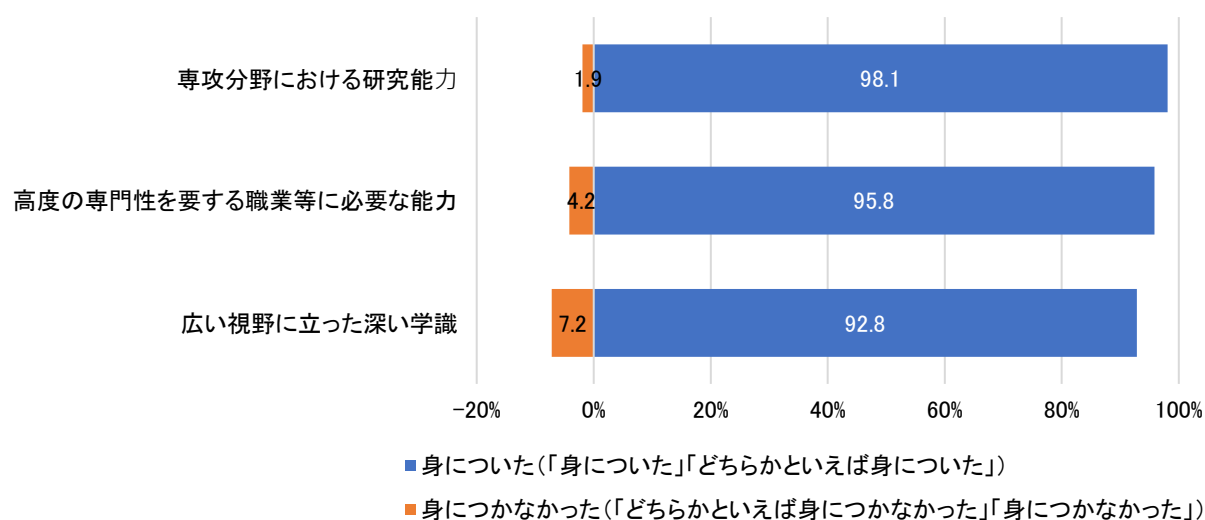
■ 推奨する(「推奨する」「どちらかといえば推奨する」) ■ 推奨しない(「どちらかといえば推奨しない」「推奨しない」)

※ 割合は、選択した回答数／区分ごとの総回答数で計算した

## Ⅱ-5 大学全体のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点

・ 図 19 では、3つ全ての項目で「身についた」の割合が9割以上となっている。

図 19 自分がどの程度身につけられたと思うかをお答えください。【回答の割合】



■ 身についた(「身についた」「どちらかといえば身についた」)

■ 身につかなかった(「どちらかといえば身につかなかった」「身につかなかった」)

※回答の割合について、「身についた」の回答の割合は横軸の正の値、「身につかなかった」の回答の割合は横軸の負の値で示している。

・表3では、3つ全ての項目で相関がある。

表3 大学全体の DP に関連する項目の相関

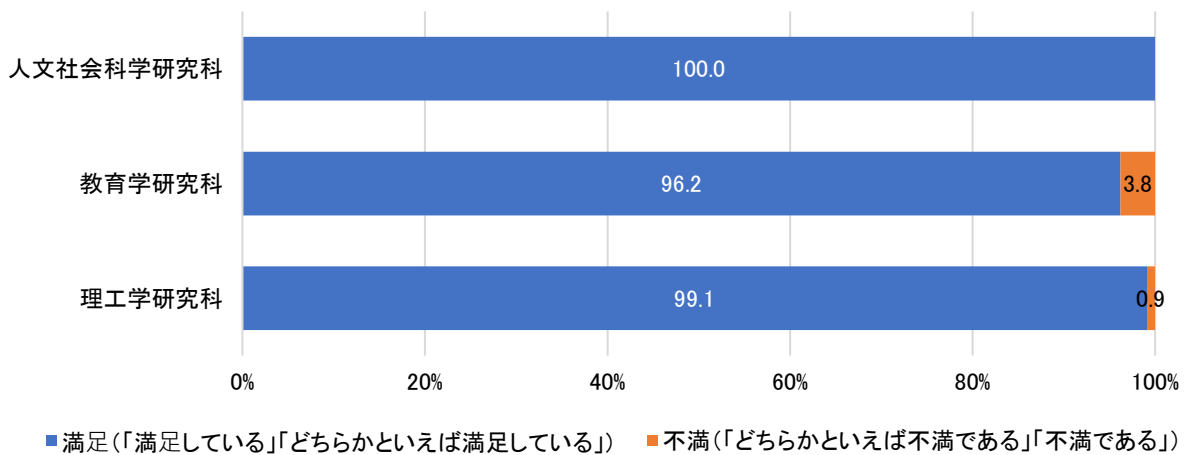
	専攻分野における研究能力	高度の専門性を要する職業等に 必要な能力	広い視野に立った 深い学識
専攻分野における研究能力			
高度の専門性を要する職業等に 必要な能力	0.60		
広い視野に立った深い学識	0.65	0.63	

■ 0.9以上 非常に強い相関 ■ 0.7～0.9未満 強い相関 ■ 0.5～0.7未満 相関がある □ 0.3～0.5未満 非常に弱い相関 □ 0.3未満 ほぼ無関係

## Ⅱ-6 教育に関する総合満足度

・図20では、全ての課程で9割以上の学生が「満足」と回答している。

図20 埼玉大学の教育に対して、総合的な満足度をお聞かせください。【満足度】





## 調査実施方法(大学院博士後期課程)

○アンケート実施時期 : 2023年3月13日～2023年3月31日

○2023年3月修了者数 : 21人

○有効回収数 : 10票

○回収率 : 47.6%(回収率は、有効回収数/3月修了者数で計算した)

※本アンケートは、株式会社ネットマン製のC-Learningにより回答を依頼した。

※グラフの個々の数字は、小数点第二位以下を四捨五入しているため、数字を合計して100%にならない場合がある。

## Ⅲ 大学院全体(博士後期課程)

### Ⅲ-1 回答者の特性

- ・ 大学院博士後期課程は回答者数が非常に少ない(10名)ため、1人あたりの回答が占める割合が高くなることに留意が必要である。
- ・ 図22では、課程別回収率は、人文社会科学研究科が66.7%、理工学研究科が44.4%となっている。

図21 修了者・回答者の課程別割合

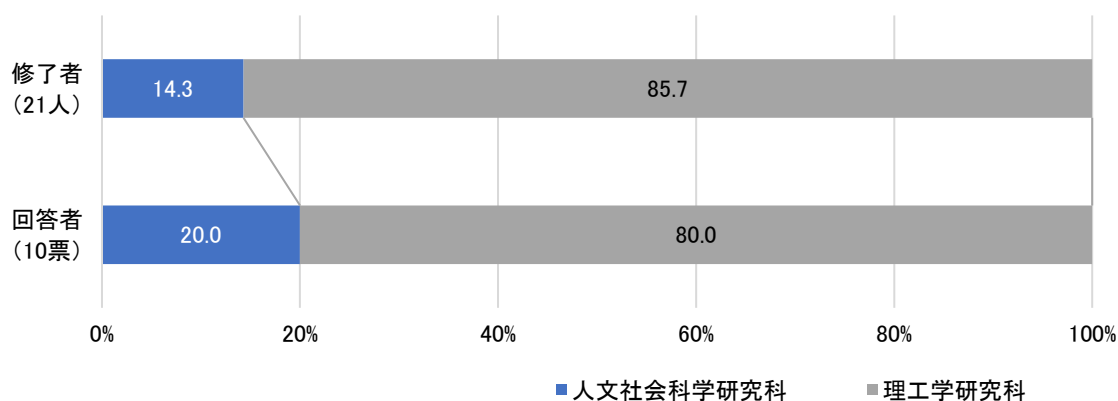
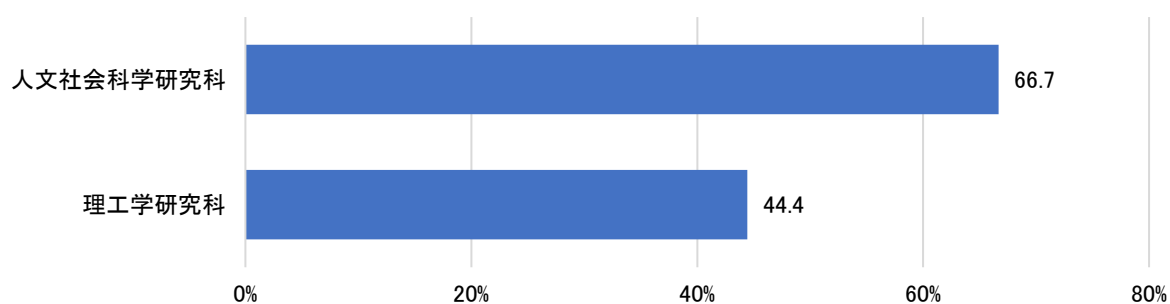


図22 課程別回収率



### Ⅲ-2 修了後の進路

- ・ 図 23 では、「就職する」は、人文社会科学研究科が 100%、理工学研究科が 75%となっている。
- ・ 図 24 では、人文社会科学研究科は「小・中・高等学校・特別支援学校教員」「国立大学職員」が 50%、理工学研究科は「小・中・高等学校・特別支援学校教員」が 44%と割合が高い。

図 23 進学される方は、進学先をお答えください。就職される方は「就職する」をお選びください。【進路別の割合】

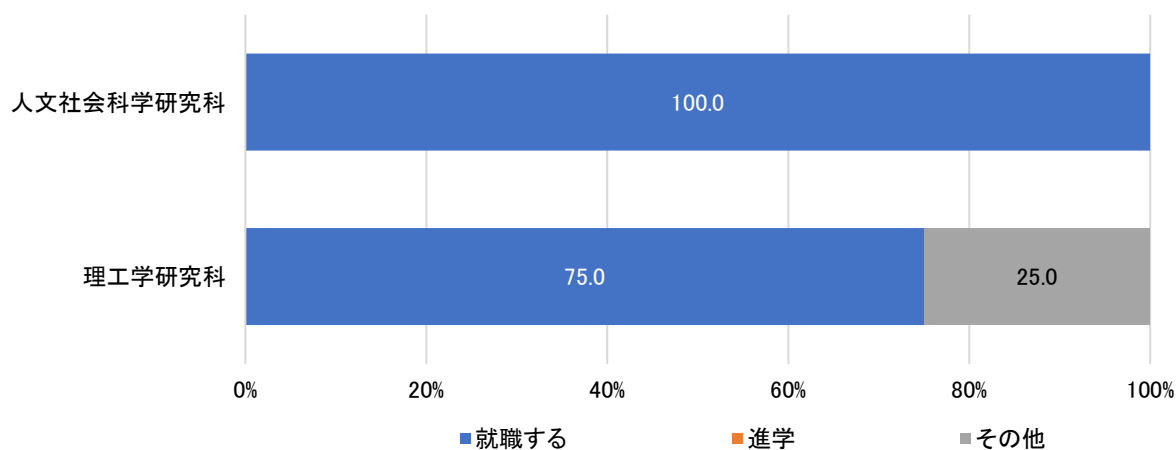
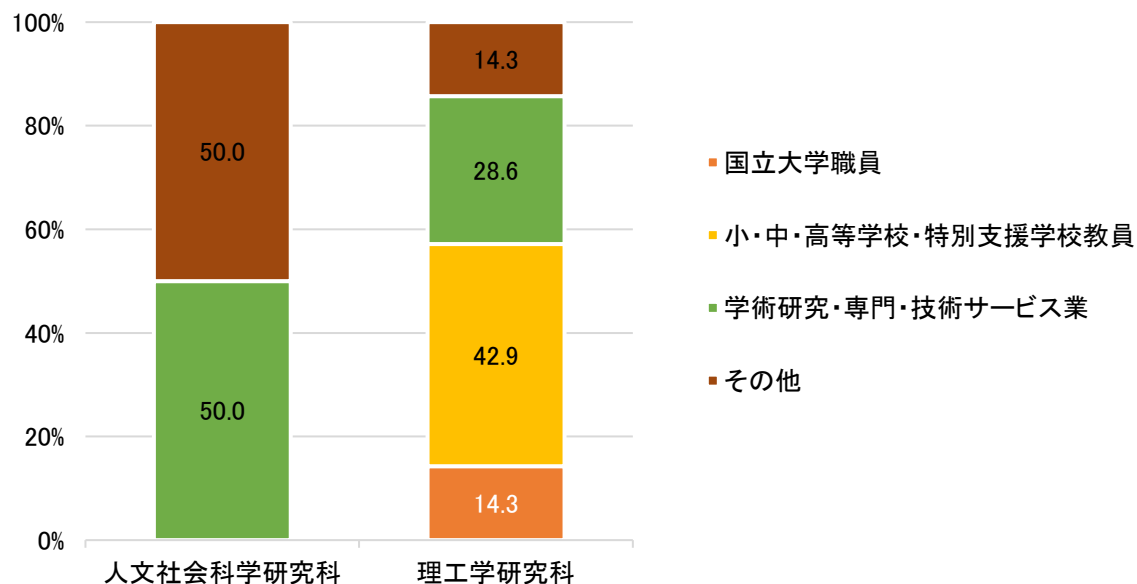


図 24 就職される方は、就職先を以下のリストの中からお選びください。【業種別の割合】

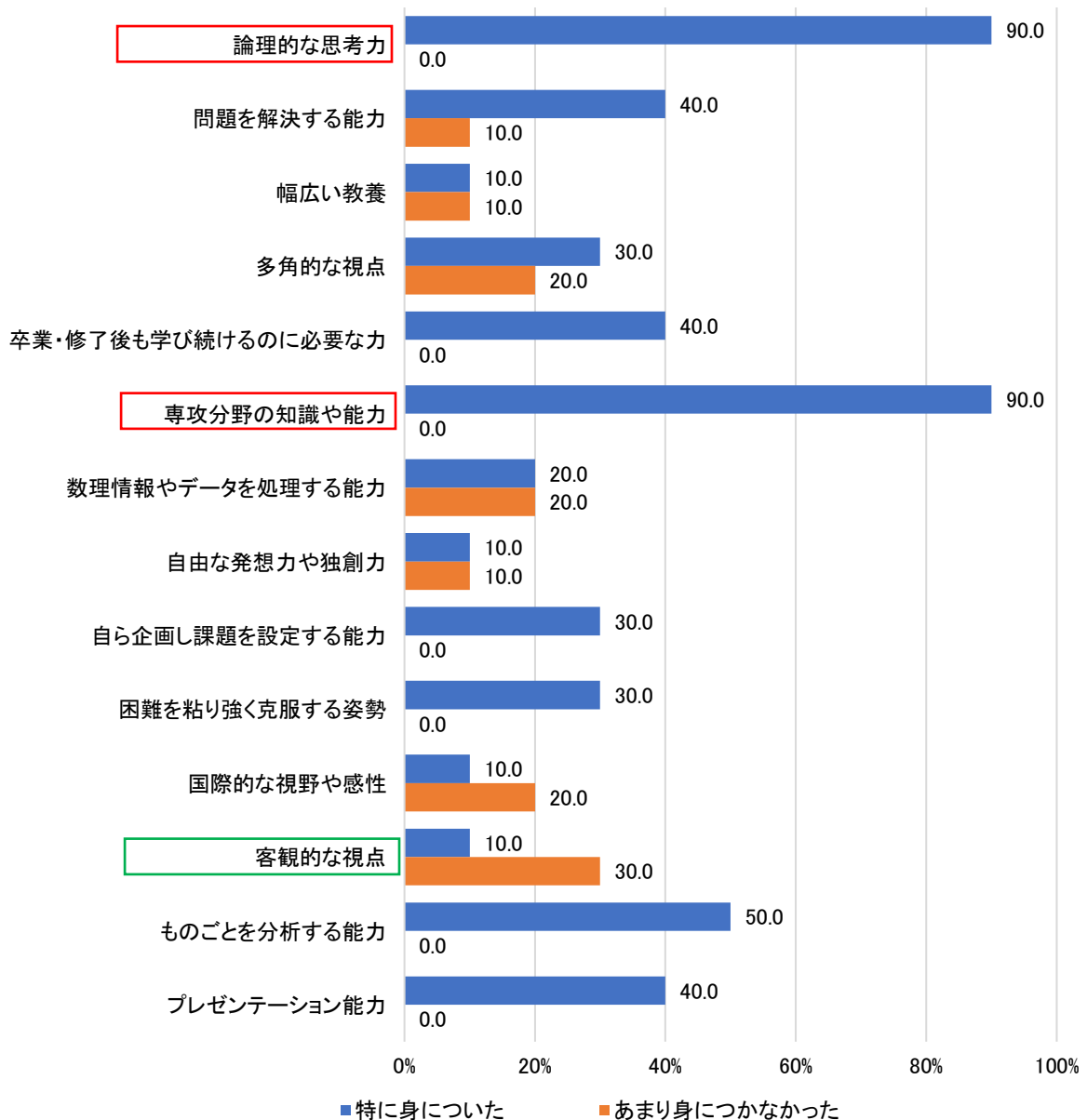


### Ⅲ-3 能力、姿勢、態度

<修士・博士前期課程>

・「論理的な思考力」「専攻分野の知識や能力」は、9割の学生が特に身についたと回答している。一方、3割の学生が「客観的な視点」があまり身につかなかったと回答している。

図 25 大学を通じて特に身についたと思われる力・姿勢、あまり身につかなかったと思われる力・姿勢を5つまでお選びください。【回答の割合】



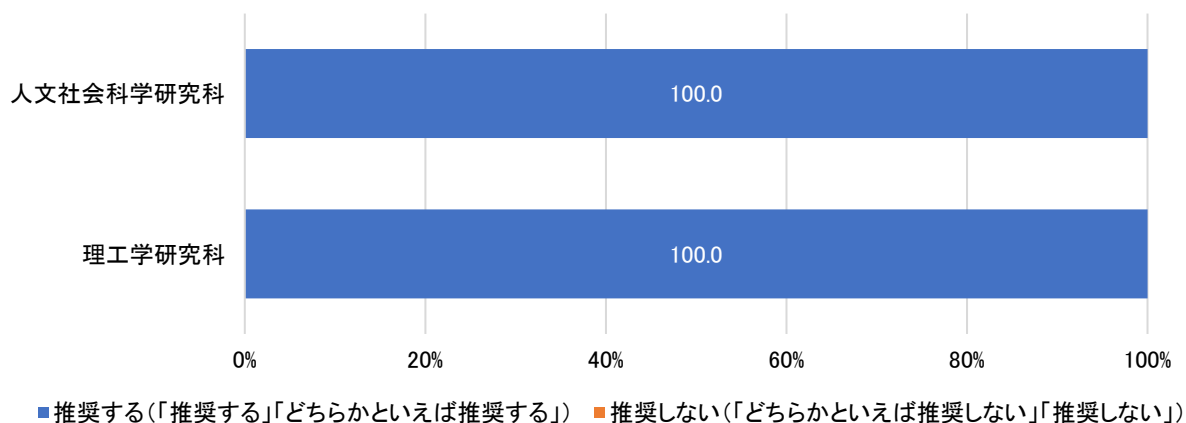
※ 回答の割合は、選択した回答数／全体の回答数で計算した。

### Ⅲ-4 本学の推奨度

・ 図 26 では、本学の推奨度は、全ての課程で全修了生が「推奨する」と回答した。

図 26 もしあなたの友人や家族、親戚等が埼玉大学の受験を検討していたら、どの程度推奨しますか。

【推奨度】

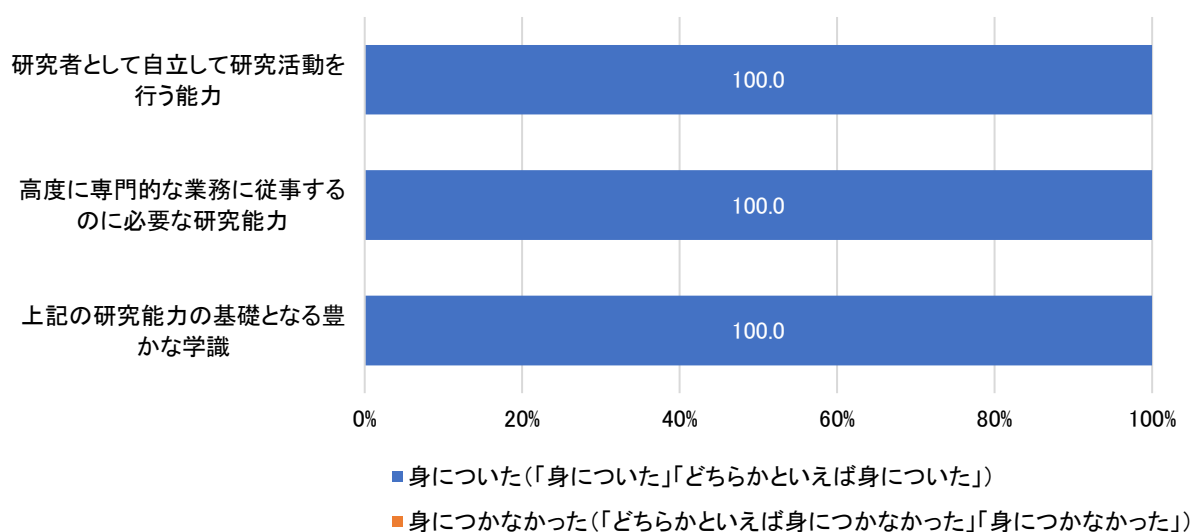


※ 割合は、選択した回答数／区分ごとの総回答数で計算した

### Ⅲ-5 大学全体のディプロマ・ポリシーに関連する項目で身についた点

・ 図 27 では、3つ全ての項目で全修了生が「身についた」と回答している。

図 27 自分がどの程度身につけられたと思うかをお答えください。【回答の割合】



※回答の割合について、「身についた」の回答の割合は横軸の正の値、「身につかなかった」の回答の割合は横軸の負の値で示している。

・ 表 4 では、3つ全ての項目で相関がある。

表 4 大学全体の DP に関連する項目の相関

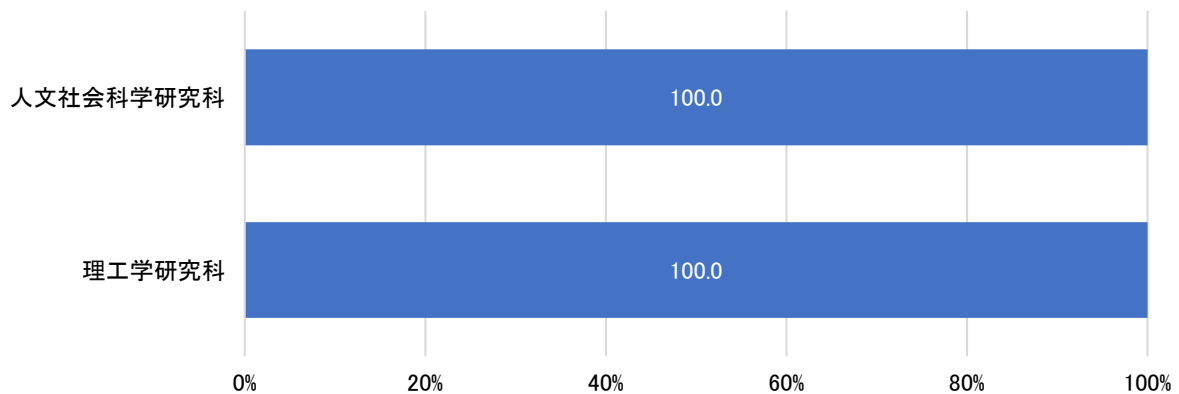
	高度に専門的な業務に従事するのに必要な研究能力	研究者として自立して研究活動を行う能力	上記の研究能力の基礎となる豊かな学識
高度に専門的な業務に従事するのに必要な研究能力			
研究者として自立して研究活動を行う能力	0.71		
上記の研究能力の基礎となる豊かな学識	0.61	0.80	

■ 0.9以上 非常に強い相関 ■ 0.7~0.9未満 強い相関 ■ 0.5~0.7未満 相関がある □ 0.3~0.5未満 非常に弱い相関 □ 0.3未満 ほぼ無関係

### Ⅲ-6 教育に関する総合満足度

・ 図 28 では、全ての課程で全修了生が「満足」と回答している。

図 28 埼玉大学の教育に対して、総合的な満足度をお聞かせください。【満足度】



■ 満足(「満足している」「どちらかといえば満足している」) ■ 不満(「どちらかといえば不満である」「不満である」)